

R3年度実証実験 ～那須塩原市～

栃木県無人自動運転移動サービス推進協議会

1. 全体計画(抜粋) (1) ロードマップ

■ R3年度実証実験は、那須塩原市→小山市→壬生町の順に3か所で実施を予定

事業年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	《参考》 追加候補箇所
地域 特性 分類	中山間地域	茂木町 (道の駅もてぎ～茂木駅 ～ふみの森もてぎ)		那須町 (黒田原駅周辺)		那須烏山市 (大金駅～藤田地区)
		市街地の周遊性向上 高齢者の移動手段確保		主要拠点間の周遊性向上 関係人口の創出等		中山間地域の移動手段確保 鉄道駅のラストマイル対策
	観光地		那須塩原市 (塩原温泉郷)	宇都宮市 (西川田駅～ 県総合運動公園)	日光市 (奥日光低公害バス 路線)	栃木市 (渡良瀬遊水地)
			観光地の二次交通充実 観光地の周遊性向上	イベント時の移動手段確保・ 公共交通利用促進等	観光地の二次交通充実 ビジネスモデル検証	イベント時の移動手段確保・ 公共交通利用促進等
			壬生町 (道の駅みぶ)			
			公園等のアクセス向上・ 周遊性向上等			
	市街地		小山市 (小山駅～白鷗大学)	足利市 (足利学校周辺)	下野市 (自治医大駅～ 自治医大病院)	真岡市 (真岡駅周辺)
			市街地の周遊性向上 通学手段の確保	市街地の周遊性向上 歩車共存空間の再配分	医療施設のアクセス向上 ビジネスモデルの検証	市街地の周遊性向上 鉄道駅のラストマイル対策
					芳賀町 (芳賀工業団地)	
					多様な交通モードの連携 ビジネスモデルの検証	
自動運転レベル (想定)		レベル2 (技術開発の進捗、現場の状況等を見ながらレベルアップ) レベル4				
備考		東京オリンピック・ パラリンピック	とちぎ国体・大会			

1. 全体計画(抜粋) (2) 那須塩原市・塩原温泉郷

生活				産業				観光				公共交通	
人口減少・少子高齢化	施設 アクセス 向上	自動車 依存脱却	土地 利活用	工業団地 活用	農業生産 推進	特産品 販売促進	中心 市街地 活性化	観光客 増加	観光資源 活用	交通 円滑化	観光PR	公共交通 空白・ 不便改善	公共交通 維持

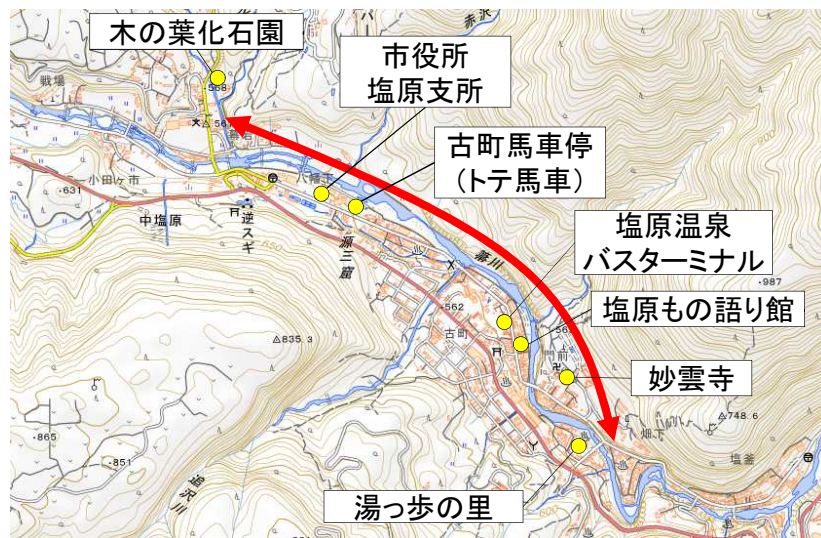
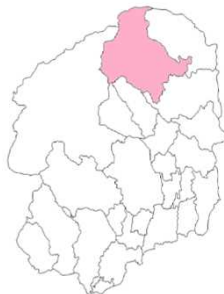
中山間地域

観光地

市街地

(1) 実験概要

- ① 主要拠点：塩原温泉バスターミナル、各温泉施設、各観光施設
- ② 関係者：バス事業者、観光協会、旅館協同組合、市観光局
- ③ 想定車両：グリーンローモビリティ
- ④ 想定時期：R3年度（R3年9月～10月頃）



(2) 背景

- ① 開湯1200年を誇る塩原温泉郷は、紅葉シーズンを中心に、年間210万人以上の観光客が来訪
- ② 首都圏からの来訪者は、自家用車利用が中心
- ③ 温泉街の道路幅員は狭く、駐車場容量が不足
- ④ コミュニティバスが走行しているものの、運行本数が少なく、また、観光利用に特化していないなど、温泉街を周遊するための二次交通の充実が課題
- ⑤ R元年に『那須塩原市「CO₂排出量実質ゼロ」宣言』を行い、環境に配慮した公共交通整備を検討

(3) 選定のポイント

他地域への展開可能性	観光地における二次交通の充実 観光地における周遊性向上
当該地域での発展可能性	観光地の魅力度向上 環境に配慮した移動手段の導入 中山間地域における貨客混載
PR効果	観光シーズン等の観光客へのPR
実現可能性	コミュニティバス運行 トテ馬車運行（休業中）

2. 実験概要 (1) 実験目的等

■ 環境に配慮し、かつ、観光客がゆっくりと周遊できる新たな交通手段の導入可能性を検討

(1) 地域課題

- ① 塩原温泉郷は、自動車での来訪者が多いが、駐車場容量が不足しており、紅葉シーズン（10月中旬頃～11月中旬頃）等には交通渋滞が発生している。
- ② 塩原温泉郷では、観光利用に特化した公共交通がなく、温泉街を周遊する際の二次交通の充実が課題である。
- ③ 那須塩原市では、R元年に「CO₂排出量実質ゼロ宣言」を行い、環境に配慮した公共交通整備を検討している。

(2) 実験目的

自動運転システムを搭載したグリーンスローモビリティの運行により、環境に配慮し、かつ、観光客がゆっくりと周遊できる新たな交通手段の導入可能性について検討する。

(3) 実験車両

- ① 車両：eCOM-10
(群馬大学)
- ② 乗車人数：16人
- ③ 動力源：電動モーター
- ④ 走行速度：最高19km/h
- ⑤ 自動運転：レベル2



高精度3次元地図とLiDAR、カメラ、GNSS等を使用して走行

- ⑥ その他：緊急時は同乗のドライバーが介入
宇都宮市大谷地区で運行（R元年）



(4) 実験時期・実験区間 【調整中】

- ① 時期：R3年11月中下旬頃（2週間程度想定）
- ② 区間：「塩原支所」～「塩原温泉バスターミナル」等
～「湯っ歩の里」（片道約1.8km）

2. 実験概要 (2) 運行ルート・停留所【調整中】

- 「塩原支所」から「塩原温泉バスターミナル」等を経由して「湯っ歩の里」に至る区間(片道約1.8km)を運行する方向で検討
- 停留所の位置や数については、観光客のニーズを考慮して設定する方向で検討



2. 実験概要 (2) 運行ルート・停留所【調整中】

5

塩原支所



塩原温泉バスターミナル



古町馬車停（県営駐車場）



湯っ歩の里



2. 実験概要 (3) その他【調整中】

- 将来の実装を見据え、地元関係者と連携した取組を実施する方向で検討
- 実験時期、運行ルート・停留所、地元関係者との連携等の内容については、9月上旬頃までに具体的に確定させた上で、関係機関との協議に進む予定

主な検討事項	検討イメージ（例）
観光サービスとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動運転バスの乗車と観光施設や飲食店の利用とのタイアップ ・ 車内における観光案内 等
乗車方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・ （新型コロナウイルスの状況を見極めながら）県外観光客の乗車、予約なしの乗車等を実施 等
運行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元交通事業者の運転手による車両運行 等
その他検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の発展可能性等を考慮しながら、地域課題の解決に向けた取組について、那須塩原市や地元関係者と協議

《参考》今後のスケジュール（予定）

	8月	9月	10月	11月	12月
実験準備	概要検討・地元協議		実験準備		
関係機関協議		警察協議等			
モニター募集			モニター募集		
実証実験				実証実験	